

北海道新幹線倶知安駅 駅舎デザインコンセプトの検討について

駅舎デザインコンセプトの検討

前提条件

地域の現状

- 倶知安町とニセコ町で多くのインバウンド客が来訪
- 高級なコンドミニアムや世界的なブランドのラグジュアリーホテルの整備や計画が多い

新駅の位置付け

- 羊蹄山麓地域
- ニセコエリアの玄関口

駅周辺のまちづくりのコンセプト

「人がつながり地域がつながる新幹線まちづくり～みんなで進める新幹線駅周辺整備とにぎわいの創出」

町民アンケートの結果

駅づくりを進める上で重視するキーワード

- 落ち着いた (79.0%)
- 暖かみのある (76.6%)
- 自然的 (74.8%)

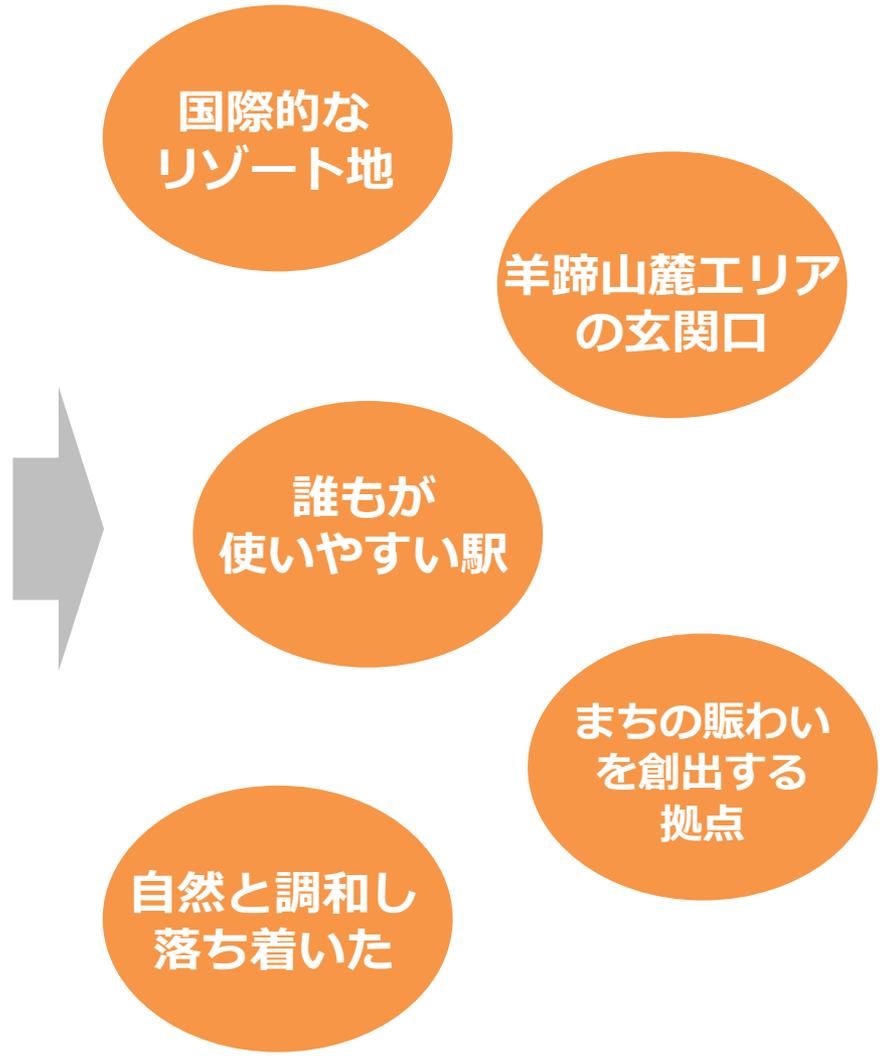
駅舎にふさわしいデザイン

- 羊蹄山を眺望できるデザイン (62.0%)
- 誰もが使いやすいユニバーサルデザイン (49.6%)

駅舎デザインにふさわしいキーワード、モチーフ

- 羊蹄山 (82.7%)

デザインコンセプトを検討する上で意識したい視点



駅舎デザインコンセプトの検討

	駅舎デザインコンセプト (例)	概要
A	羊蹄山とニセコ連峰を望む 北国の山岳景観や田園景観に調和した駅	町のシンボルである羊蹄山やニセコ連峰を望む景観を大切にしながら、自然素材（木材や石材など）を多用した自然を感じられる駅舎イメージ
B	地域の歴史（農村）と未来（国際リゾート） をつなぐ架け橋になる駅	農業地帯として発展してきた羊蹄山麓地域の歴史を大切にしながら、国際的なリゾート拠点となったニセコエリアの現代的で高級なイメージを感じさせる駅舎イメージ
C	羊蹄山麓エリアの拠点都市としての にぎわいあふれるウェルカムゲート	羊蹄山の眺望を活かしながら、山麓一帯に広がる地域の玄関口として、駅から始まるにぎわいが市街地、そして地域一帯に広がっていくような暖かみのあるイメージ
D	国際的なリゾートエリアの玄関口にふさわしい 地域ブランドを象徴する駅	世界中からの観光客を迎えるのにふさわしい空間が広がる国際的なスノーリゾートという地域ブランドの玄関口としてふさわしいラグジュアリーな駅舎イメージ
E	ナチュラルで機能的かつ 飾り気のない自然と調和したシンプルな駅	美しく雄大で手つかずの自然と明確な四季に彩られる地域を象徴し、自然に調和しながら装飾を省いたシンプルさ、心地よさを大事にした駅舎イメージ

駅舎デザインコンセプトの検討

参考資料：自然素材を多用したデザイン（A案）のイメージ



カリフォルニア州ヨセミテ国立公園



写真出典/モンベルHP

モンベルショップ
(道の駅はなやか小清水に隣接したショップ)